

第49回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会 会長挨拶

本日、ここに、第49回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、本日の大会には、全国各地から大変多くの皆様にご参集いただいております。お陰様で、このように盛大に本大会を開催できました。心から厚く御礼申し上げます。

また、本大会には、公務ご多忙のところ、

厚生労働省労働基準局安全衛生部長 半田有通様、国土交通省自動車局貨物課長 加賀至様、警察庁交通局交通企画課長 廣田耕一様、そして、東京都産業労働局雇用就業部長 矢田部裕文様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜りましたことを誠に光栄に存じ、厚く御礼申し上げます。

さらに、本日は、労働災害の防止に顕著な功績をあげられました事業場、団体、個人の方々等への表彰を行うこととしております。受賞されます皆様方には、これまでのたゆまぬご努力、ご精進に対し深く敬意を表しますとともに、心からお慶びを申し上げます。

ところで、陸運業における労働災害は、会員事業者のたゆまぬ努力により、長期的には減少傾向にあります。前労働災害防止計画の平成20年から24年においては、死亡災害については、平成19年に比べ、5

年間で62人減、31.6%の大幅な減少となりました。しかしながら、死傷災害については、平成19年に比べ、5年間で44人増、0.3%の増加となったところです。

このため、平成25年度を初年度とする新たな「陸運労働災害防止計画」では平成29年度までの5か年で、死亡者数については、20%減、死傷者数については、10%減の目標を掲げ、一層の重点的な労働災害防止に取り組むこととしたところです。

本年、平成25年の労働災害の速報値によると、死亡災害は、9月末現在で前年同期に比べ-42.4%と大きく減少しております。しかし、死傷災害は10月末現在で前年同期に比べ、2.4%増加しており、4年連続での増加が懸念されるという極めて憂慮すべき状況にあります。このため、厚生労働省からの労働災害防止の徹底の要請も踏まえ、各支部の皆様にも特に年末・年始の労働災害防止強調運動期間における一層の徹底を緊急にお願いしているところです。

このような陸運業の労働災害、とりわけ、死傷災害の減少を図るため、厚生労働省では、死傷災害の7割以上を占める荷役作業時の労働災害を防止するため、本年3月「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」を示したところです。

陸災防では、現在、この荷役ガイドラインの周知を目的とした説明会を、厚生労働省の委託事業として全国で開催しているところであり、今後ガイドラインを踏まえ、荷主等と連携した荷役災害の防止を推進してまいります。

これから年末・年始を迎え、死亡・重大災害を含む労働災害がさらに多発することが懸念されますことから、「年末・年始労働災害防止強調

運動」を例年に増して、強力に推進していくこととしております。関係行政機関、関係団体の皆様方には、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

陸運業は、引き続き厳しい経営環境のもとにあります。我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核であります。このような機能を、今後とも十分に果たしていく上でも、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは、必要不可欠であります。

本日、ご参集の皆様方におかれましては、本大会を契機に、これまで以上に充実した実効ある労働災害防止活動を展開されますようお願い申し上げます。

結びに、本大会開催に大変ご尽力をいただきました陸災防東京都支部の皆様をはじめ関係者の方々に厚く御礼申し上げますとともに、お集まりの皆様方の事業場の益々のご繁栄と労働災害ゼロを心から祈念し、私の挨拶といたします。

平成25年 11 月21日

陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長

川合正矩